

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について 資料2

3 地域ブロック会議の見直し（令和5～6年度）

地域ブロック会議在り方検討会の設置

民生委員・児童委員協議会、小学校・中学校校長会、八王子児童相談所、子ども家庭支援センターの代表者による検討会

実施内容の検討

過去の実施状況を踏まえた新しい実施方法の検討

八王子市全域を対象とした

『地域センター会議』 に決定

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

4 地域センター会議の実施に向けて（令和7年度）

地域センター会議実施検討会の設置

民生委員・児童委員協議会、小学校・中学校校長会、八王子児童相談所、こども家庭センターの代表者による実務者会を開催

開催内容の検討

あり方検討会の方針を受け、新しい実施方法の検討

実施方針の決定

講義＋地域の関係機関とのトークセッション
講義はこども家庭庁職員による「児童虐待による死亡事例から地域でどのような連携ができるか」を中心とした内容
トークセッション登壇者は医療機関や、民間の児童福祉に関する機関等

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

5

地域センター会議実施内容

講演内容

こども家庭庁 虐待防止対策課調整係長 福井充氏による講演
『虐待相談や死亡事例の状況にみる地域連携・協働の大切さ』

トークセッション内容

8機関(島田療育センターはちおうじ・放課後等デイサービストライク・親子つどいの広場館・南大沢保育園・教育指導課SSW・主任児童委員・八王子児童相談所・こども家庭センター)による、トークテーマを設定し、ディスカッション。



トークテーマ

- ・児童虐待発生時の流れについて
- ・発達に課題のある子どもへの支援について

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

6

実施報告

実施日 令和7年11月12日（水） いちようホール（大ホール）

参加者数 479名

アンケート（一部抜粋）

- ・少しでも児童虐待が減り、未然に防ぐことができるよう各々の機関の共有だけでなく同じ方向へ支援していく事の大切さを感じる。
- ・それぞれの専門がつながることで様々な困難をかかえた家族や子どもたちが救えると感じた。
- ・最大目的は「その家族の幸せ」その実現の為に各関係が心をくだき、活動していくことが大切だと感じた。「傾聴」が大切だと感じました。
- ・児相、島田療育センターなど普段あまりお話しを聴けない方々の話が聴けたのがよかった。

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

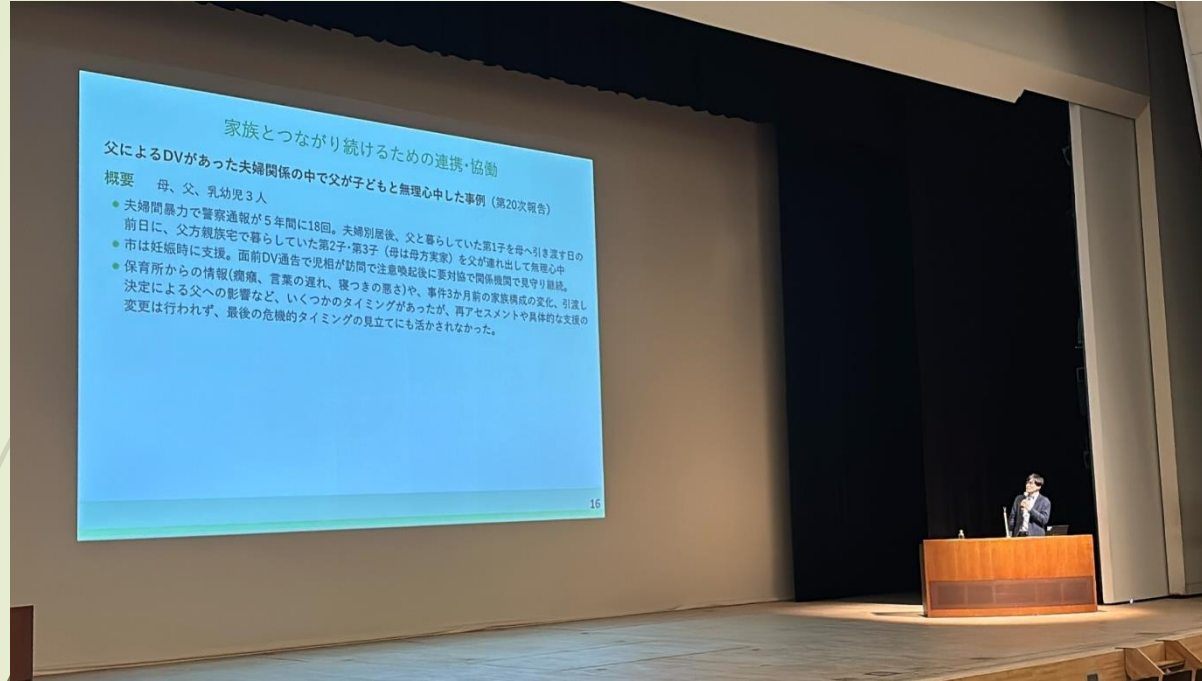
7

実施報告

- ・副題に「地域の連携・協働の大切さ」が書かれているが、「地域」がどんどん弱くなっているように感じる。町会の加入率は下がり、子供会は解散する所がふえ、老人会も加入者が減り、解散する所もある。PTAも加入率が減り、負担を減らすためPTAの仕事もどんどん減らしている。今後地域がどうなるか心配
- ・トークセッションの時間が短かった。実際に活動されている方々ですので、もっとじっくり聞きたかったです。
- ・今までのように地域のブロックでの会議の方が、身近な方達との話し合いが出来るので、良いのではと思いました。
- ・2時間で開催することは無理があったと思う。福井先生の講義だけでも2時間の枠で丁寧にやった方がいいと思いました。会場の問題などあるかもしれませんが、インプットした内容を事例検討でアウトプットすることも先生の講義の流れだとできたと思います。

地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

8 実施報告



↑ 第1部 こども家庭庁福井氏による講演

↓ 第2部 トークセッション



地域センター会議（旧地域ブロック会議）について

9

次年度に向けて

日 時

令和8年11月11日（水） 午後2時～午後4時（仮）

場 所

いちょうホール（大ホール）

内 容

架空事例による事例検討

- ・市内複数の関係機関も登壇
- ・聴講者も参加